

事例検討会報告様式（記入例）

※ 課題を解決して終わりにするのではなく、解決までのプロセスを身に付ける。

今回検討したいこと

このところ問題行動が増えている A さんの支援は、このままで良いか疑問に感じている。本人の事業所での活動が合っている部分もあり、合っていない部分もあるのではないかと担当者も感じている。どのような工夫があれば良いか検討したい。

事例概要（年齢、性別、診断名、生育歴、家族歴）

氏名：A さん 年齢：29 歳 障害名：知的障害 自閉症  
 家族：父（61 歳） 母（58 歳） 兄（別世帯） 両親との三人暮らし  
 ADL：自立 コミュニケーション：オウム返しが多く、あまり会話は成立しない

サービス導入の経緯

支援学校卒業と同時に通所を開始している。作業所ではタオルたたみや牛乳パックの張り合わせ、紙すきによるハガキの作成などを行っている。毎日休むことなく通っており、健康で動きも軽快である。

本人の支援ニーズと本サービスにおける支援目標

作業所は好きなように休むことなく通っている。平日は作業所に通い、週末は家族と過ごすことで安定した生活となっている。将来はグループホームなどで一人暮らしをしてほしいとの両親の希望はあるものの、今はその段階ではないと考えている。自分の持ち物を他者が勝手に触ったり、決められたカリキュラムの時間がずれると不機嫌になったり、暴力を振るうことなどがあるため注意している。工賃が高い他事業所へのステップアップを図りたいが、問題行動もあるためうまく進んでいない。

サービス導入から現在までの支援内容とその結果およびアセスメント

約 10 年間毎日、淡々と通っているがこのところ問題行動が増えてきており原因もはっきりしない。昼の昼食中にプラスチック製の弁当箱を床に叩きつけ踏みつぶしてしまう。作業所の送迎車で走行中に内側から後部座席のドアを開けて、降りようとしてしまうなどの突発的な行動が頻回になりつつある。A さんからはハッキリとしたことが聞けず、両親から自宅での様子も聞いてみたが、行動にあまり変化はないとのこと。  
 一方で作業活動は淡々とこなし、創作活動の時間には、独特な色使いできれいな塗り絵を作成したり、1000 円程度の戦闘機のプラモデルであれば説明書を読みながら、一人で作成することができるぐらい能力は高い。

ストレングス

性格・人柄／個人的特性

才能・素質

几帳面で自分だけの時間へのこだわりがある  
 体力がある  
 節約家

自転車が乗れる  
 一人で外出ができて迷わず帰れる。

環境のストレングス

興味・関心／向上心

住宅街の中に自宅があり、買い物や駅なども近く生活には便利な環境に住んでいる。

買い物が好きだが、高額なものは買わない。